

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH WEEKLY



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：山田 安隆 幹事：大村 精二

会報委員長：清水 忠

1974・1月31日

第8号

マイク片手に……

北陸放送副部長 金森 千枝子氏



職業がら私は、マイクを片手に色々な人に会って来ました。その中で心にしみて今も強く耳に残っている言葉があります。それは、ホームヘルパーと一緒に或る寝たきり老人を訪ねた時のこと、陽のあたためる崖下の家に棲んでいるそのお婆さんはい、ました。「お金はお上からいただくがで十分や。唯、だれ一も来てくれんのがさみしいがや。」と。

私は自分のなれの果てを見る思いで身につまされました。考えたくないけど、何れは人間誰しにもそういう時が来るはずです。そしてその時、老いのさびしさを救ってくれるものは、少くともお金だけではないということです。

ロータリアンの方々の活動のご参考として下さい。

—北ロータリー卓話より—

(文責 清水 忠)



かなざわ文学散歩

— “みがく” —

書を読まざること三日、面に垢を生ずとか、昔の聖は云ったが、読めば読むほど垢のたまることもある。

体験が人間にとって何よりの修養だと云ふことも云われるが、之も当てにならない。

むしろ書物や体験を絶えず片端から切払ひ切払ひするところに人の真実が研かれる。

徳田秋声作“縮図”より

私の名刺

木島 光 仁



昭和20年3月金沢三中卒業。勤労働員中で毎日勉強もせず軍需工場で生産に励んでいた最中です。友人の多くは陸士、海兵、予科練特幹等の学校に行き、卒業式には半数の生徒もいなかった様に思います。その後直ちに旧制四高、金沢医大と進み、昭和28年新設の金沢大学整形外科に入局。医局時代、昭和30年東京大学へ内地留学、昭和32年～34年春迄ニューヨーク大学へ留学し、帰学後、金大整形外科講師として3年間勤め、その後37年春に現在地に開業致しました。学生時代は四高柔道部、金大では柔道部を創設し、講道館四段となり、初代キャプテンを2年半位勤め、現在何時の間にか六段になりました。

昭和47年4月北信越柔整専門学校を創設し、現在1年生60名、2年生52名が当学校で勉学し、将来整骨師（ほねつぎ）となり社会福祉の一翼をになう一員たらんと云う夢を育てております。49年度は北信越地区は勿論の事、北海道、九州よりの生徒も入学し、遠くラオス、アルゼンチンよりの留学生をも迎え、益々国際色豊かに育ちつつあります。

家庭では、母71才、妻39才、長女12才、次女10才、三女8才のオール女性に囲まれております。

趣味は之と云ったものもありませんが、一年に一度は電話のかからない外国旅行が唯一の楽しみとでも申しましょうか。ともあれ毎日の生活が、患者、学校、医師会にと追いまわられて大変余裕のない生活をしております。

小 杉 守 男



私は昭和7年生れ。地元金沢此花小学校、戦時中に石川県立工業。戦後同志社を卒業し、現在の小杉建材店に入り現在に至る。父からの体質遺伝？にして若くから白毛頭で、よく年令の面で誤解され勝ですが、北RCの中でも至って浅学非才の若僧でありまして、皆様方の厚情ある指導鞭撻を紙上を借りてお願い申し上げる次第です。

私の店は大正5年頃に当地左官業者を対象に、漆喰壁の材料の石灰を販売したのがきっかけで、今日迄建築業界の中、左官業と永い歴史と伝統の中に育ち、社会的にも高く評価されて来ています。この事は寒風の中でワラを刻み、泥をこねて荒塗りし、凍った壁をたき火で暖をとりながら、数日経つとひびが入り空隙をつくる。たん

ねんにその空隙をうめながら中塗り、その乾きを待って仕上げする。この様な長い工期と労力を強いられた左官と云う職業も、材料改良変遷と機械工具の発達でその工法は変っているが、しかしその建築物を施工する精神だけは昔も今も変りない筈であると確信しながら、左官業界の発展のために今後材料面で開発指導型の店として本業に徹する所存であります。

唯、年末オイルショック、電力不足で私達の取扱商品も生産構造変化による影響で、全商品の品不足、価格高騰で毎日当惑していますが、未だ住宅不足の折から、将来に夢を託しながら、あくまでも日本の伝統的な建築にわびとさびが取り入れられた立派な壁づくりに役立ちたいと思っております。

私の考えるロータリー (7)

ロータリー情報委員長 柴田 三郎

—国際奉仕と社会奉仕を中心に—

ロータリーでは、その奉仕の理想を実践に移すため、四つの部門に大別している。それは既にご存知の通り、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕である。その内クラブ奉仕にはいくつかの委員会を設けて、それぞれ分担している。また国際奉仕にはロータリー財団を包含すべきであり、金沢北RCにはまだ設けてはないが、都市安全即ち交通と公害、それに青少年問題を含めて社会奉仕に組み入れる筋合いのものであろう。

ところで、この四大奉仕は、いづれにも軽重、甲乙のあるべきものではないが、ロータリーが創始された当初には、おそらくクラブ奉仕と職業奉仕が主体であったと想像される。ロータリーが次第に活動範囲を拡大するに及んで、国際と社会が自然、発展的に加えられるに至ったように考えられる。

しかし、今日においては、ロータリーの目玉は職業奉仕であり、ライオンズのそれは社会奉仕と特色が明かになって来た。この相異点に大きな注目と認識がなされねばならない。ロータリーの四つの部門に軽重を論ずるべきものではないことは前述の通りであるが、私はこの四つの関連を次のように判断し、表現したいと考えるのである。

即ち、職業奉仕はロータリーの根であり幹である。そして、社会奉仕と国際奉仕はその枝であり葉である。更に、クラブ奉仕はそれらの土壌である。立派な土の中にすばらしき根がはり、幹が生まれ、それを根幹として自然に枝が伸び、葉もしげることになる。従って、せんじ詰めれば、内容充実のすぐれたクラブとは、このような姿である。この論法、クラブは土壌、職業は根幹、国際と社会を枝葉とする（枝葉末節と違う）見解論は私独自の創案であるが……。

以上を前提に、国際奉仕と社会奉仕について考えを進めたいと思う。ロータリーの綱領にもある如く、「奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の、世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること」と宣言されているように、国際奉仕は国際親善と理解であり、それにはいろいろ手段もあろう。いま私どもにはアラブとイスラエルの紛争の中に割って入る立場でもないので、海外旅行や外人が来日したとき、誠実に友好的に接触することであり、対外輸出入にたずさわるときも同様であろう。エコノミックアニマルと蔑称される行動、旅の恥はかき捨てる乱行は、国際奉仕を冒瀆するものである。

この他、最もたやすく国際奉仕を実践出来るのは、ロータリー財団（米山財団を含めて）への協力であるが、その詳細は改めての機会に述べたい。

社会奉仕については、ロータリーには職業を通じての路線もあるが、一般的には、今の社会悪に挑戦し、地域社会に貢献されねばならないことは常識である。青少年と公害、加えてエネルギーとインフレの問題など、ロータリアンの取組まねばならぬ事象は数多く押し寄せている。正当なる利益を挙げて税の負担力を増大させるのも重大なる社会奉仕の一つであろう。

また、金銭の寄金だけが社会奉仕ではない。ロータリーは、むしろ金銭よりも心の社会奉仕を期待しているのである。交通遺児、身よりのない孤独の老人などに対して、国や県市の手の及ばない心の奉仕をロータリーが受け持つのも一策ではなかろうか。

第15回例会

◆ 1月17日(休)雪 ホワイトハウス 12:30~13:30

1. 卓話 “ロータリアンにのぞむ”
第361区ガバナー 安田常男氏
2. 出席 出席32名、欠席6名、出席率84.2%
先週補正率97.4%
3. 来訪者 金沢RC 坪野俊雄君、江川昇君
徳田保久君、石黒伝六君
松本静夫君、大樋長左門君
寿美田与作君
金沢東RC 金子健吾君、矩幸成君
更田康彦君、藤井良之助君
金沢西RC 吉川正美君
金沢南RC 飯田一郎君
4. 幹事報告 ◆安田ガバナーを迎え、例会終了後クラブ協議会開催。
◆吉田会員ご母堂死去。
5. 今日のニュース
◆太平洋側のカラカラ天気65日目、日本海側の大雪5年ぶり。
◆田中首相東南アジア歴訪の旅より帰朝。
※今回例会はガバナー公式訪問例会。

第16回例会

◆ 1月24日(休)小雪 ホワイトハウス 12:30~13:30



1. 卓話 “石油危機と今後の経済”
北国新聞社副主筆
荒谷余十勝氏
2. 出席 出席34名、欠席4名
出席率89.5%
先週補正率94.7%
3. 来訪者 七尾RC
小西賢一君
金沢RC 山本清嗣君、真柄要助君
金沢東RC 矩幸成君、柿下正雄君
松本由君
金沢南RC 片山豊作君、
川原善一君、米谷半平君
4. 幹事報告 金沢南RC 5周年記念式典と親睦ゴルフの案内 3月1日~2日
5. 今日のニュース ダイエー、西武、ジャスコなど大手スーパーは値下げ宣言。
日立、松下、トヨタ、日産など大手メーカーは値上げ宣言。

◆ ロータリー ニュース

● クラブ協議会開催

1月17日例会終了後、公式訪問の安田ガバナーを迎えてクラブ協議会が持たれ、当クラブの活動方針について熱心な討議が行われた。



● 認承状伝達式実行委員会スタート

1月10日理事会において次の通り決定。
(右附表の通り)

● 例会卓話案内

1月31日	三田	会員
2月7日	大場	会員
2月14日	吉田	会員
2月21日	松本	由氏
2月28日	東元	会員

- “ロータリーの友” 論文 “ロータリー何をなすべきか” で柴田会員第1席入選

◆ 認証状伝達式実行委員会

会長	山田安隆
実行委員長	越野民男
本部	大村精二、山田 淳、上 次作 柴田三郎、浅田豊久
式典部会	
部会長	三田良信
副部会長	吉田昭炳、清水 忠
委員	笠間恒次、大場勝雄、小杉守男 山上啓介、木島光仁、柴田三郎(兼) 由井賢一
懇親部会	
部会長	釣見栄一
副部会長	長野幸雄、大海徳二
委員	平尾信明、米沢修一、本江他美夫 土原一二、米沢繁男、東元 潔 泉 武義
記念事業部会	
部会長	岡田林太郎
副部会長	若野三朗、宗田市太郎、木田忠男
委員	小林隆二、塩村喜代次、高田 全 俵 外代吉、岡部三郎、桜井健太郎 小杉善二、山岸与作